

関東地方一級河川の水質調査結果とそれを用いた河川水質の変遷

パシフィックコンサルタンツ(株) ○上原 浩, 東海林太郎, 三重野あずさ,
国土交通省関東地方整備局関東技術事務所 小林勝也, 斎藤明子, 清水孝男

Water Quality Survey Results and the Transition of River Water Quality of the Kanto Region Class a River, by Hiroshi UEHARA,
Taro SHOJI, Azusa MIENO(Pacific Consultants Co., LTD.), Katsuya KOBAYASHI, Akiko SAITO, Takao SHIMIZU(Kanto Engineering
Laboratory, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism.)

1. はじめに

「河川環境の整備と保全」の理念が河川法に追加され、昨年で 20 年が経過した。この「河川環境」の政策の一つに、河川利用・生活環境に配慮した水量・水質の改善があり、国土交通省では、清流ルネサンス等の一級河川の水質汚濁対策を実施している。関東地方整備局管内の一級水系河川のうち、特に綾瀬川、多摩川、鶴見川等の水質悪化は深刻であったが、近年ではその事業効果により、河川水質が改善され、水際利用・親水利用も増えている。

そこで、本稿では、関東地方整備局が管理する一級 8 水系河川における河川水質の改善状況と変遷及びその公開状況について紹介する。

2. 河川水質調査の概要と取り組み

国土交通省では旧水質二法の制定を受け、昭和 33 年より河川水質調査を実施している。関東地方整備局管内は 8 水系河川で直轄管理区間 1,532.1km について 171 地点で水質調査を実施している(平成 28 年)。この調査は、河川水質調査要領¹⁾に従って調査方法を統一して実施しており、一定の精度を確保している。また、BOD 等の水質汚濁に係る項目だけでなく、人と河川とのふれあいや豊かな生態系、利用しやすい水質といった視点での調査も行っている。

3. 水質データの公開

(1) 関東地方一級河川の水質現況

毎年 7 月頃に、前年の水質データを整理し、過年度との比較を行って、水質調査結果の概況をとりまとめた資料を作成して記者発表や WEB で公開²⁾している。

(2) 水文水質データベース³⁾での公開

過年度の管内の各水質調査地点の調査結果を web 上からテキストデータで入手することができる。

4. 一級河川の河川水質の変遷

蓄積してきた水質データを利用して、関東地方一級河川における水質の分布、変化を紹介する。図 1 は各調査地点の水質を示す。環境基準が未達成の地点は河川においては点在しているが、霞ヶ浦で多く存在する。また、図 2 は特に水質汚濁が深刻であった 3 河川の水質経年変化を示す。昭和 50 年代までは高

い値であったが、事業効果等により汚濁濃度は大きく減少し、平成 28 年時点では 3 地点ともに環境基準を満足している。

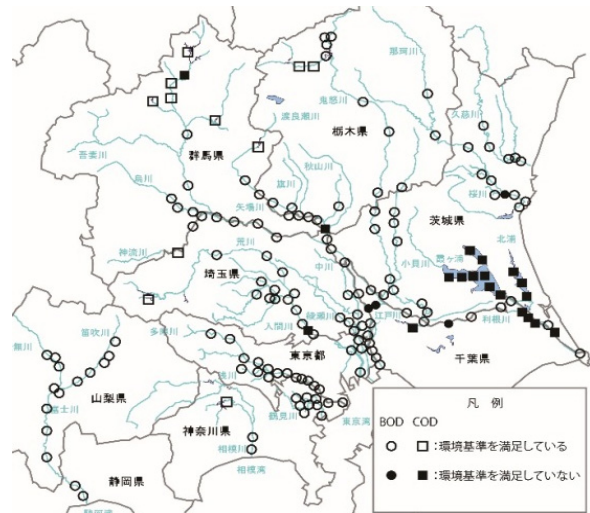


図 1 関東地方一級 8 水系河川の水質分布 (H28 年)

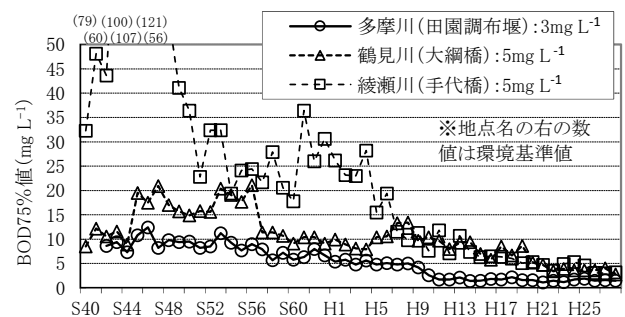


図 2 BOD75%値の経年変化

5. 結論

本稿では、国土交通省関東地方整備局が所管する一級河川における水質調査の概要と変遷状況、水質データの蓄積と公開に関して紹介した。この結果からも、今後、水質が改善された河川では、更に親水・憩いの場として、住民のニーズも増えてくることが予想される。引き続き、河川水質調査結果について、情報提供を行ってきたい。

参考文献

- 1) 国土交通省:河川水質調査要領(案), 昭和 42 年作成, 平成 17 年改定
- 2) 国土交通省関東地方整備局 WEB サイト:
http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000324.html
- 3) 水文水質データベース:<http://www1.river.go.jp/>